

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	工業振興 班
事務事業名	中小企業景気対策事業(中小企業経営安定化資金利子補給金)		事業コード	31210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	4 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

中小企業経営安定化資金利子補給規則

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市融資制度のうち、中小企業振興資金を利用した者に対しては2年間支払った約定利子の40%以内、県融資制度のうち、経営安定特別資金を利用した者に対しては1年目に支払った約定利子の50%以内、2年目に支払った約定利子の30%以内を補助することにより、利用者の金利負担軽減を図る。		融資制度利用者	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
利子補給件数 中小企業振興資金 43件 355,000円 県経営安定特別資金 49件 3,548,000円			
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	55,091	26,779	3,903	6,493	234
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	55,091	26,779	3,903	6,493	234
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 =
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 制度自体が既に廃止されており、残った利子補給分についても平成14年度までに完了する見込みであるため。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 利用者の利子負担の軽減に役立っている。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 平成14年度完了見込みのため
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 利子負担軽減の一助となっている。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 制度自体は平成10年度に廃止となっている。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 平成14年度事業完了
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 平成14年度事業完了

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

・低金利の状況に応じた制度への見直しを検討すべきである。